

# 地域を創る 総合型クラブ

人口4000人余りの只見町は、平成の大合併をせず、独自のまちづくりを進めてきました。その一環として「只見町地域包括型スポーツパーク構想」「地域創生事業」が掲げられ、少子高齢化・過疎化をはじめとするさまざまな地域課題の解決に町を挙げて取り組んできました。今号はこれらの事業の企画・立案・実践を通して、地方創生に挑戦するクラブをご紹介します。



さんさんキッズプロジェクト



NPO法人ただみ  
コミュニティクラブ  
(福島県南会津郡只見町)

## Club Profile

【設立】	平成20年2月29日
【活動拠点】	福島県南会津郡只見町
【会員数】	300人
【年会費】	大人6000円 高校生以下2500円 ※イベント別途参加費あり500円~3000円

vol.7

## 持続可能な 地域社会基盤の構築と 人づくり

NPO法人ただみ「コミュニティクラブ  
クラブマネジャー 平山真恵美

### 雪上スポーツで地域おこし

只見町は日本でも有数の豪雪地帯です。そのマイナスイメージを逆手にとり、「楽しく雪上スポーツで地域おこしをしてみたい」「冬期間のネガティブな印象を変えたい」という思い（願い）から地域の有志（自営業・農業従事者・運送会社・公務員・団体職員等15名）が平成18年に準備委員会を設置、平成20年2月に総合型地域スポーツクラブとして活動を開始、平成24年8月に法人格を取得しました。

クラブでは、広く一般地域住民を対象として、文化、スポーツ、レクリエーションを通して、スポーツの振興、地域住民の健康増進、地域のコミュニティ構築、豊かな



TADAMIスノースポーツフェスティバル雪上バレー

\*只見町地域包括型スポーツパーク構想／緊急時の避難所機能を有したスポーツ施設を設置し、只見町をはじめとする奥会津の地域住民の安心・安全な生活の継続的な支援体制を整え、これらの施設が奥会津地域住民の健康維持や憩いの場となり、さらにはスポーツ観光など多くの場面で有効活用できる環境整備に取り組むことを目的としている

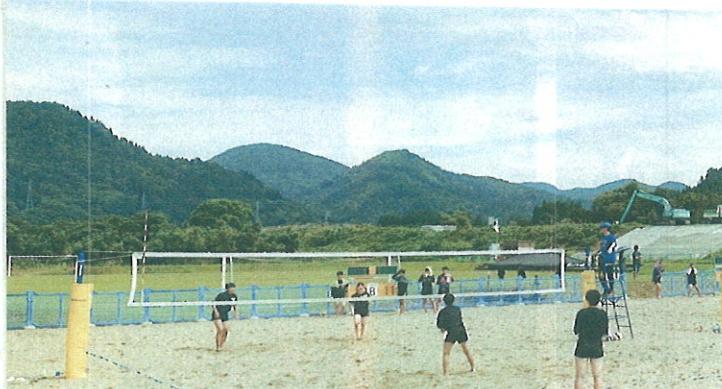
高齢者社会の創造および青少年の健全育成に関わる事業を開拓することにより、健康で豊かな生活を送ることができる社会の実現を目指しています。現在は定期スポーツ教室の実施、高齢者健康教室、学童期の居場所づくり事業、児童の体力向上事業、スポーツ交流型観光推進、地域資源を生かしたスポーツの推進、特に少子高齢化の町が抱える地域の課題解決の一助となるよう地域のコミュニティを大切にし、健康経営の分野や地域の人材育成の取り組みに力を入れています。

### トレーラーハウスがママカフェ&子どもの居場所に

平成26年に「只見町地域包括型スポーツパーク構想」が策定されました。この企画立案にクラブが携わったことがきっかけで、地方創生事業のプロジェクトメンバーに参画する機会を得ました。平成26年にユネスコエコパークに認定された広大なブナ林を有す

る只見町は、「人と自然と共生する町」として持続可能な地域をつくることに力を注いでいます。町の振興計画で新たな交流を創出する取り組みとして、自然を生かしたスポーツ環境をつくる計画も併せて行われてきました。

平成28年から地方創生事業「ふるさとの未来を託せる子供を育てる環境づくり」の取り組みが始まっています。町内にビーチバレーコートやトレーラーハウスが設置され、ビーチイベントや合宿等で全国から多くの方が訪れ、利用してくださっています。現在3つのトレーラーハウスはカフェや個人店として営業を行い、地域のコミュニティづくりと健康経営を意識し、実績を積み上げています。その一つ「ママカフェ」は、各種スポーツ教室やイベントでの利用に加え、子どもの体力向上を目指し、運動遊びを実践するプレイリーダー研修や子どもたちの居場所としての開放、親子で楽しむ自然素材の「みそ作り」ワークショップなどを企画し、子どもの健やかな成長を育



只見カップビーチバレー大会

Tryクロスカントリースキー



雪上サッカー

事業受託企業であるコンサルティング会社の下、本クラブを含め、全部で6つの企業・団体・研究機関がアライアンスを組み、行政担当課とも協力しながら、町の幼児期の成長を支える根幹の事業として着実に根付き始めています。この事業のポイントは、幼児期の発育発達支援を可視化することにより、睡眠、運動能力、生活習慣の状況などさまざまな視点でデータを取得・分析し、客観的評価のフレーム「実践の場」として活用されています。

### 幼児期の 発育発達支援を可視化 ～さんさんキッズプロジェクト～

む子育て世代を応援する「交流の場」「実践の場」として活用され、平成28年度からの地方創生事業の一環として、子どもたちの生きる力を育てるための支援、それを支える周りの人・環境づくりの取り組みとして、幼児期の体力向上を目指す『たまみ健やか発育発達支援事業～さんさんキッズプロジェクト～』が始まりました。現在は町独自の予算による事業となり、

### 保育士→保護者→地域住民へ 好循環を生み出すしくみ

平成28年度から実施する「好循環を生み出すしくみ」は、地域住民への情報公開を行うと同時に、その情報を実際の教育機会に活用し、複合的な支援基盤を構築していることです。

平成28年度からの地方創生事業の一環として、子どもたちの生きる力を育てるための支援、それを支える周りの人・環境づくりの取り組みとして、幼児期の体力向上を目指す『たまみ健やか発育発達支援事業～さんさんキッズプロジェクト～』が始まりました。現在は町独自の予算による事業となり、

事業受託企業であるコンサルティング会社の下、本クラブを含め、全部で6つの企業・団体・研究機関がアライアンスを組み、行政担当課とも協力しながら、町の幼児期の成長を支える根幹の事業として着実に根付き始めています。この事業のポイントは、幼児期の発育発達支援を可視化することにより、睡眠、運動能力、生活習慣の状況などさまざまな視点でデータを取得・分析し、客観的評価のフレーム「実践の場」として活用され、専門職のみならず、保護者、地域住民へ提供するなど、より有益な情報公開を行うと同時に、その情報を実際の教育機会に活用し、複合的な支援基盤を構築しているこ

とです。

その成果は、子どもたちの体力・運動能力の変化だけにとどまらず、自らが考え主体的に動くといった行動につながり、その成長を支える教育関係者・保護者・地

域住民の意識も変えています。特に日々の幼児との関わりが深い保育士が、可視化されたデータ分析やOJT（現任訓練／On the Job Training）・職場における実務を通じた職業教育のことから多くの気づきや学びを得て研究発表に取り組み、幼児期の発育発達に関する意識を深めようと姿勢が保護者や地域住民へ伝わり、子どもたちを健やかに育むことへの意識を高めていくという嬉しい「好循環」が生まれています。また、外部の専門家による最新の知見や、他機関との連携事業のあり方を学ぶことにより、クラブスタッフの意識変革にもつながっています。幼児期の体力向上を目指す運動遊びにおいて、野山で身体を動かすことを取り入れた主体性を大切にする「遊び」の中に、「生きる力」をたくましく育んでいく大きな可能性を感じています。

子どもの成長を育む大人たちが想いを共有し、理解し合いながら「同じ方向」を向き、「同じ目標」に向かって進んでいることが今日



ピバ・サッカー教室



からだ塾



陸上教室

### クラブの主な活動内容

Try クロスカントリースキー (定期教室)	冬期間、クロスカントリースキーで健康増進を目指します。専門スタッフが個人のレベルに合わせてサポートします（1月～3月まで開催）。
ピバ・サッカー教室 (定期教室)	サッカーの基礎を習得し、参加者全員でサッカーを楽しめます（小学生以上対象）。
陸上競技教室	専門指導者による、技術力向上のための教室です。正しい走り方、跳び方、投げ方を楽しく身につけます（小・中学生対象）。
さんさんキッズプロジェクト	町内の保育所を拠点とし、独自の幼児期運動プログラムを実践しながら、保育サービスの充実、幼児期の体力・運動能力の向上、心身両面の発育・発達の促進、町ぐるみで子育て支援体制を確立することを目的としています。
からだ塾	只見振興センターとの協働事業で、カローリングや卓球、バドミントン等のラケット運動、ウォーキングを中心楽しく身体を動かし、健康増進を図ります。高齢の方に人気です。
TADAMI スノースポーツフェスティバル (イベント)	雪上でのバレーボール＆フットサルの試合を楽しむことができます。また、トップアスリートとの交流や「雪中宝探し」などのゲームもあり、只見の冬を満喫できる雪上イベントです。
只見カップ (ビーチバレーボール大会)	只見町亀岡ビーチコートを利用した人口交流事業。県内の参加者によるビーチバレーボール大会を実施しています。

### 地域性を健康づくりに活かす 人材育成事業

の成果に繋がっていると感じています。

ブを支える会員とスタッフの確保に力を尽くしています。

現在、只見町ではその地域性を

「強み」に変え、自然や環境を生かした健康づくりを行うことを視野に入れた人材育成事業「只見健康経営大学」に取り組んでいます。大学では『健康経営』をキーワードに、町民がまずは自分の健康に興味を持つことを「スタート」とし、年齢性別を問わず、いつでも始められ、楽しく「改善」に向け

て取り組み、健康についての学びを深められるようなカリキュラムが用意されています。クラブとしても、健康を維持・増進するためには「何かを始めたい！」という思いをサポートできれば…と考えています。

### 地域の価値を見直し より良く・住みやすい環境へ

地方創生事業に取り組んだ経験から、この町が多くの資源や人材に恵まれていること、それらを利活用できるということを改めて感じることができました。特に多くのネットワークを介して多面的に物事を見る目が養われたことにより、地域が持つ価値についての考え方や捉え方が変わると同時に、地域が活気づき、人々も生き生きして見えるようになりました。これまでの経験から培ったノウハウを活かし、他の地域の「先駆け」となるような取り組みを積極的に行って、地域をより良く・住みやすい環境にするための智恵を絞ることができたなら…と思っています。